

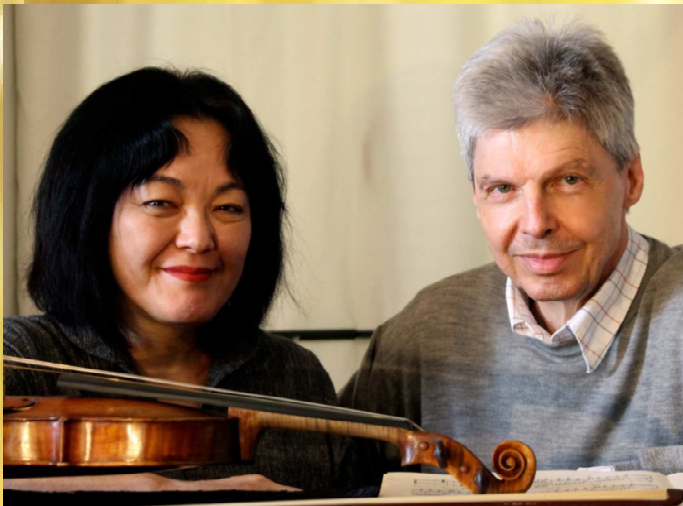
熊本大地震復興支援

Marathon Charity Concert

マラソンチャリティーコンサート

様々なジャンルの音楽家たちがコンサートでバトンを繋ぎ、熊本支援の輪を広げます

「Duo コンサート」 アルプスの爽やかな風にのせて



2016年10月14日(金)

19時開演(18時半開場)

会場：日本基督教団 久我山教会

(井の頭線久我山駅 徒歩6分)

チケット：一般 3,000円 学生 1,000円

- ベートーベン ソナタ 7番
- プロコフィエフ ソナタ(1998年改訂版)
- ラヴェル ソナタ

ヴァイオリン 古沢 英子

東京に生まれる。東京芸術大学音楽学部を首席で卒業後、渡欧。イギリスとスイスの奨学金を受け、ベルン音楽院にてマックス・ロスタール氏に指事。同音楽院を卒業の際エドワード・チューミー賞を受賞。1980年 J.S.Bach 国際コンクールに入賞。同年チューリッヒ室内合奏団のコンサートマスターに就任。1985年チューリッヒ・トーンハレオーケストラの女性としては史上初めてのコンサートマスターに就任。渡欧以来、ソリストとして数々の音楽祭に出演、日本をはじめとしてヨーロッパ各地で演奏活動を行っている。1985年オリオントリオ(ピアノトリオ)を結成。日本でも定期的に演奏活動を行っている。室内楽では Rudolf Buchbinder(Schumann Piano Quintett 南アメリカ演奏旅行) James Galway (Spohr Nonett) Pinchas Zuckermann (Mendelssohn Oktett) Heinrich Schiff (Schubert Oktett) Wien Berlin アンサンブル (Onslow, Clementi, Pacini, Mercadante など)を共演している。1993年にはチェコのブラハにエドワード・スーク氏とパッハの二つのヴァイオリンの為にコンチェルトを共演している。1997年スイス政府よりハノイ シンフォニー オーケストラ指導の為にベトナムに派遣され、ハノイにて演奏会を行う。それを機に度々ベトナムやタイに指導と演奏会の為に招かれている。2007年、永く務めたトーンハレオーケストラを去り現在ヴァンタートゥール音楽院で後進の指導にあたっている。

ピアノ ジョージ マルティン (Georges Martin)

スイスのチューリッヒに生まれる。パーゼル音楽院において、クラウス・リンダーにピアノの手ほどきを受けチューリッヒ音楽院で、サヴァ、サヴォフ、イヨルク、フォン、ウインチガーなどに師事する。さらに指揮をアンドレ・シャルレに、又音楽解釈法をエーリッヒ・ラインスドルフに師事する。数々のコンクールに入賞、ソロ活動に加え、室内楽も多数手がけており、バリトン歌手のローランド・ヘルマンやハインツ・ホリガー、ウィーン、ベルリン、アンサンブルのパートナーとしてもしばしば共演、スイス国内をはじめとしてヨーロッパ各地で演奏活動を行っている。1972年以来、チューリッヒ トーンハレオーケストラの専属ピアニストでもあり、ルドルフ・ケンペやチェリビダーク、サヴァリッシュなどの著名な指揮者とも共演している。親日家でもあり、1980年以来定期的に日本各地でコンサートツアーを行っている。

主催：熊本大地震復興支援マラソンチャリティーコンサート実行委員会

公益財団法人

共催：東京YMCA

【お問い合わせ・チケットお申込み】

TEL：03-3615-5562 FAX：03-3615-5608

sanjo@tokyoymca.org (東京YMCA本部事務局)



YMCAの復興支援活動

東京YMCAは全国のYMCAと協力しながら、スタッフやボランティアを派遣し、熊本地震の復興支援活動を行っています。特に熊本YMCAが地震直後から運営している「益城町総合体育館」と「御船町スポーツセンター」の2カ所の避難所は、今後も仮設住宅などが整備されるまで継続して支援をしていく予定です。コンサートの収益は、YMCAが行う熊本の復興支援活動のために用います。